

モニタリング結果報告書 (令和5年度)

1. 施設概要

施設名	花と緑のふれあいセンター		
所在地	平塚市寺田縄496番地1		
サイトURL	http://www.kana-garden.com/		
根拠条例	神奈川県立花と緑のふれあいセンター条例		
設置目的(設置時期)	花き園芸その他の農業を楽しむための情報提供施設 (平成18年2月)		
指定管理者名	(株) かながわGAパートナーズ		
指定期間	H21.12.1 ~ R12.3.31 (2009年) (2030年)	施設所管課 (事務所)	農政課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
利用状況はB、利用者の満足度調査はS、収支状況はS評価となったため、3項目評価をAとした。 利用状況については、猛暑により夏期の利用者数が伸びず目標達成率が97.2%となったが、利用者数は過去最高実績となった昨年度に次ぐ2番目の実績となった。 利用者の満足度調査については、上位2段階の割合が94.3%を占めS評価となった。 収支状況については、マイナス収支の縮減率が65.60%となったことからS評価となった。
<各項目の詳細説明> ◆管理運営等の状況 バラをはじめとする季節の花木の植栽管理を行い、年間を通して園内を良好な状態に維持することができた。季節の催事に合わせたイベントを企画、実施するとともに、それらをメディアや県の広報など多様な広報媒体を活用し情報発信を行った。 ◆利用状況 利用者数は目標達成率が97.2%となり、B評価となった。前年度対比では94%とマイナスとなったが、屋外施設であることから夏期の猛暑による影響を受け集客が伸びなかったためと推察される。 ◆利用者の満足度 調査項目の全体満足度において、上位2段階の回答割合が94.3%となったためS評価となった。 ◆収支状況 マイナス収支の縮減率は65.60%となったためS評価となった。 ◆苦情・要望等 苦情・要望はなかった。 ◆事故・不祥事等 事故・不祥事はなかった。 ◆労働環境の確保に係る取組状況 特になし。 ◆その他 特になし。

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう。
A	B	S	S	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	
現地調査等 の実施状況	実 施 頻 度	現地調査等の内容
	毎月実施	指定管理者から提出された業務報告書及び現地の状況を確認した結果、適切に指定管理業務等が履行されていることを確認した。
意見交換等 の実施状況	実 施 頻 度	意見交換等の内容
	毎月実施	園内を巡回した際の植栽の状況や事業計画、実施事業の内容に係る調整、次年度計画等について協議を行った。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有 ・ 無	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

〔 指定管理業務 〕

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
展示事業 ・バラ以外の花き栽培展示にも力をいれていく	特に植物が少ない冬季の展示事業について、12月にはアイスチューリップ、2月にはクリスマスローズ展、3月にはラナンキュラスをメインとしたキンポウゲ科植物の展示を開催した。 また、早春には球根ミックス花壇展示を実施した。	継続した事業の実施によりバラ以外の植栽展示についての認知度が向上したことで、バラの開花時期以外の集客にも貢献している。
集客事業 ・ステージ等を活用したイベントを実施する。	季節に合わせた企画の実施とステージを活用した地域連携や愛好家団体の利用等集客を図った。	夏の盆踊りや地域の愛好家団体による展示会の実施により、リピーターやファミリー層の獲得につながった。
体験学習事業 ・農作物の収穫体験等、楽しみながら学ぶことのできる体験学習プログラムを実施する。	気づき体験事業として、田植え、稲刈りの他野菜や花きの収穫体験事業を実施した。	参加者からは「子どもだけでなく大人も楽しめる体験でよかった」等の意見が寄せられ、人気のある事業となっている。

〔 参考：自主事業 〕

事業計画の主な内容	実施状況等
花菜ガイドの活動 バラエリアのガイドを通して、花菜ガーデン全体の魅力を伝えていく活動	バラ園や薔薇の轍（わだち）について、それぞれのバラのもつ特徴や鑑賞ポイントについて紹介し、参加者の理解を深めた。
ガイドツアーの実施 園内の樹木や宿根草を紹介する活動	季節に応じた植物の紹介を企画し実施し、参加者の植物に対する理解を深めた。
レストラン、売店	レストランでは季節ごとのメニュー開発やモーニングの提供を、売店では園芸やイベントに関連する商品、県・地域名産品等の販売を行った。

6. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上　A：100%以上～110%未満　B：85%以上～100%未満　C：85%未満
B	※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性自立支援施設と県営住宅等が該当）。

	前々年度	前年度	令和5年度
利用者数※	209,481	226,338	212,673
対前年度比		108.0%	94.0%
目　標　値	221,430	220,106	218,790
目標達成率	94.6%	102.8%	97.2%

目標値の設定根拠： 業務要求水準の20.7万人/年を越える数値で算出

利用者数の算出方法（対象）： 入園者数

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由 _____

<備 考>

7. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	窓口における通年及びイベント参加者によるアンケート実施	「満足」及び「どちらかといえば満足」が94.3%と高評価であった。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 花菜ガーデンの印象についてお聞きます。全体満足度について。

実施した調査の配布方法 直接配布 回収数／配布数 761 / 1948 = 39.1%

配布(サンプル)対象 入園者20名毎にアンケート依頼を実施

	満足	どちらか といえ ば満足	どちらか といえ ば不満	不満	合計	満足、不満に回答があつた場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	268	430	42	0	740	無回答 21人
回答率	36.2%	58.1%	5.7%	0.0%		
前年度の回答数	280	533	38	3	854	
前年度回答率	32.8%	62.4%	4.4%	0.4%		
回答率の対前年度比	110%	93%	128%	0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

8. 収支状況

評価	《評価の目安：収支差額の当初予算額がマイナスの施設》 (収支差額の当初予算額－収支差額の決算額)／収支差額の当初予算額の比率（マイナス収支の縮減率）が、S（優良）：5％以上 A（良好）：0％～5％未満 B（概ね計画どおりの収支状況である）：－15％～0％未満 C（収支差額の決算額の削減額が当初予算の85％未満）：－15％未満
S	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	マイナス収支の 縮減率 ※
前々年度	当初予算	80,119	65,845	16,477	農業体験等 2,201 広告協賛 1,648 サービス事業 12,628	162,441	218,333	-55,892	
	決算	80,163	77,437	28,321	農業体験等 3,228 広告協賛 1,462 サービス事業 12,693 リスク負担金 10,938	185,921	191,359	-5,438	90.27%
前年度	当初予算	72,135	77,940	16,739	農業体験等 2,392 広告協賛 1,210 サービス事業 12,597	166,814	207,905	-41,091	
	決算	72,135	86,671	18,328	農業体験等 4,036 広告協賛 1,210 サービス事業 13,082	177,134	185,966	-8,832	78.51%
令和5年度	当初予算	75,109	81,361	17,116	農業体験等 3,583 広告協賛 1,210 サービス事業 12,323	173,586	210,148	-36,562	
	決算	75,109	81,042	18,228	農業体験等 3,962 広告協賛 1,210 サービス事業 13,056	174,379	186,957	-12,578	65.60%

※収支差額の当初予算額－収支差額の決算額/収支差額の当初予算額

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

令和5年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

9. 苦情・要望等 ☒ 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備		件		
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 ☒ 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。